

ご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

令和5年度研修

ダム管理

主 催 一般財団法人 全国建設研修センター 後 援 国 土 交 通 省 全国知事会・全国市長会・全国町村会 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会

近年、気候変動の影響により、大雨による洪水の頻発・激甚化が懸念されており、平成30年7月の西日本豪雨、令和元年10月の東日本台風などで緊急放流(異常洪水時防災操作)が行われました。現在、激甚化する水災害に備え、流域の関係者が協力して推進している「流域治水」において、ダムの事前放流による洪水調節機能の強化は有効な治水対策の一つとされており、より効果的なダムの操作が求められています。

本研修は、国、地方公共団体をはじめ、民間企業を含めたダム管理業務に従事する方を対象に、ダムの維持管理・施設の点検整備に関する講義、ダムシミュレータ装置による洪水時操作の疑似体験、異常洪水時防災操作の計画書作成演習、さらに宮ヶ瀬ダムの現地研修により、幅広くダム管理に必要な知識を修得していただくことを目的としています。

ダム管理業務に携わる方々に必要不可欠な知識を得る機会として、また、全国から集まった 参加者との相互交流、情報交換の貴重な機会としても好評を得ています。

皆様のご参加をお待ちしております。

◎受講された方々の声

- ・近年の水災害に対するダムのあり方から設備、気象予測、実習までダムに関する幅広い 知識を得ることができた。
- ・ダム管理の課題や実務に関連した内容が多く、今後の業務に活かせると感じた。
- ・ダムシミュレータで実際にダム操作体験ができ、ダムの仕組みが見えてきた。

【研修期間】 令和5年11月13日(月) ~ 11月17日(金) 5日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL: 042-324-5315 https://www.jctc.jp/

※当センターホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム [昨年度単位数 30.5]

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム[昨年度ユニット数31]

*受講経費の助成制度がある道県(政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります)

北海道・青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・大分・宮崎の19道県。

詳細は、各道県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

令和5年度研修「ダム管理」実施要領

- 1.目 **的** ダムの維持管理・点検整備に関する講義、ダムシミュレータ装置による洪水時操作、異常洪水時防災操作の計画書作成演習及び現地研修により、幅広くダム管理に必要な知識を修得する。
- 2. 対 象 者 国、地方公共団体、独立行政法人及び民間企業等において、ダム管理 業務に携わる者
- 3. 募集人数 30名
- 4. 研修期間 令和5年11月13日(月) ~11月17日(金) 5日間
 - ※全寮制を取り止め、通学制とします。
 - ※37.5℃以上の発熱が確認された場合は、当該研修の受講をお断りさせていた だきますのでご了承願います。
 - ※会館内では、マスク着用のご協力をお願いいたします。
 - ※近隣のホテルに研修生特別料金で宿泊できます。 当センターホームページ又は下記アドレスより予約できますのでご利用ください。 https://www.jctc.jp/training/hotel
- **5. 集合日時** 11月13日(月)9時30分から9時40分までに、受付を行ってください。
- 44目、講師及び研修場所(次頁以降参照)
- 7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当:竹本、橘〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2
※申込はインターネット、郵送、FAX いずれでも受け付けています。ホームページアドレス https://www.jctc.jp/TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296

8. 研修会費及び納入方法

研修会費 **101**,**000円**(1人当たり、消費税含) 請求書を送付しますので、請求書到着後にお振り込みください。 ※振込手数料はご負担ください。 ※当日持参も可能です。 請求書の発送・納入方法につきましては、当センターホームページ 「https://www.jctc.jp/training/kaihi」をご確認ください。

9. 申込締切日 令和5年10月30日(月)

10. その他

- (1)ご持参いただくもの(筆記用具、関数電卓、共済組合員証又は健康保険証、雨具等)
- (2)研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (3)駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

【お知らせ】-

食事については、平日の昼食時のみ、お弁当(税込500円)の販売を行います。 支払いは、直接販売員へお願いします。

令和5年度研修 「ダム管理」 時間割

月日	曜日	時間 (講義時間)	教科目	細目	講師 所属 役職
11/13	月	9:30~9:40 9:40~10:00	 受付 開講の挨拶・オリエンテーショ 	ン	
		10:00~11:00 (1.0h)	特別講話	最近の河川・ダム管理に 関する話題	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 流水管理室 室 長 大野 良徳
		11:10~12:10 13:10~14:10 (2.0h)	ダム管理法規	法規、訴訟・判例	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 課長補佐 成吉 弘
		14:20~16:50 (2.5h)	ダム管理業務諸規程及びダム 操作の基本並びに維持管理・ 点検	堤体維持管理、総合点 検、長寿命化・アセット マネジメント、地域連 携、湖面利用等	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 流水管理室 課長補佐 松木 浩志
	火	9:00~10:30 (1.5h)	ダム流域の水文観測及び流出 予測	ダム管理に関わる水文観 測方法及び 流出予測方法全般	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 水循環研究室 室 長 竹下 哲也
11/1/		10:40~12:10 (1.5h)	貯水池の管理 (水質)	貯水池内の水質管理全般	一般財団法人 水源地環境センター 研究第二部 水質技術開発室 室 長 木村 文宣
11/14		13:10~14:40 (1.5h)	貯水池の管理 (地すべり・のり面保護)	地すべり・のり面保護全般	国立研究開発法人 土木研究所 土砂管理研究グループ 地すべりチーム 上席研究員 杉本 宏之
		14:50~17:20 (2.5h)	ダムの構造の概要と安全管 理、維持管理・点検	構造全般と安全管理全般	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 大規模河川構造物研究室 室 長 櫻井 寿之
	水	9:00~10:30 (1.5h)	機械設備の概要と維持管理・ 点検整備	機械設備全般	国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)グループ 施工企画室 課長補佐 工藤 大輔
11/15		10:40~12:10 (1.5h)	電気通信設備の概要と維持管理・点検整備	電気・通信設備全般	国土交通省 大臣官房 技術調査課 電気通信室 企画専門官 上原光太郎
11/13		13:10~15:40 (2.5h)	ダムの水理構造物の機能の概 要と維持管理・点検	洪水吐き、ゲートバル ブ、放流管	国土研究開発法人 土木研究所 ・ 河道保全研究グループ 水エチーム
		15:50~17:20 (1.5h)	貯水池の管理 (堆砂)	堆砂対策等全般	・ 川道保主研究グループ ホエデーム 上席研究員 水草 浩一
	木	9:00~11:00 (2.0h)	気象情報とその利活用	最新の観測方法と予測方 法など	一般財団法人 日本気象協会 事業本部 社会・防災事業部 兼 経営企画室 調 査 役 平松 信昭
11/16		11:10~12:10 (1.0h)	多目的ダムの操作	ダムシミュレータ操作内 容説明	一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修事業部 上席調査役 竹本 隆之
11/10		13:10~15:30 (2.5h)	多目的ダムの操作実技 (ダムシミュレータ操作)	2 グループに分かれて、 3 目的ダムの操作実技と	 一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修事業部 上席調査役 竹本 隆之
		15:40~18:00 (2.5h)	演習:異常洪水時防災操作の 計画書作成	演習を交互に実施	次 長 平野 一彦 研修専門役 丸山 寿一
11/17	金	8:30~12:30 (4.0h)	現地研修 宮ヶ瀬ダム 神奈川県相模原市 他 8:30 研修センター 出発 12:30 本厚木駅(小田急) 解散	ダムの維持管理全般 (操作室、洪水吐、監 査廊、広報施設の見学 含む)	宮ヶ瀬ダム (国土交通省 関東地方整備局 相模川水系広域ダム管理事務所)

令和5年度研修 ダム管理 申込書

·般財団	法人 全国	国建設研	修セ	ンター						D201
ふ	り	が	な						年 令	・性別
氏			名						満	□ 男 才 □ 女
最	終	学	歴	□大学院 □高 校		大 学 その他	□短大	□高専		引学校 卒業/修了
当研修	に関する	5経験5	F 数		年	ヶ月	役職名			事務 □技術
勤	務		先	(勤務先名)	der		žIII. m		
293	323		, .			部		課Tel		
				E-mail			@			
勤系	务 先	種	別	□国、地方 □建設業			立行政法人等ンサルタン		センター、 他	財団、社団
勤務	先	斤 在	地	〒	_					
研修	会 費 納	入 方	法	□振	込	□持	参			
※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報は、研修を円滑に実施するためのものです。 申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。 <ダム管理研修> 受講者派遣機関名										
	Z III I	// <u>/</u>	X 1/\) 1-	' =	_			Tel		
	所	在	地	·				-		
	派遣事所	事務 担								
修 場	所 >				キリ	トリ	セン			
般財団	法人 全 研		研修 会	₹センタ− 館		(1号館(こお越しくだ	さい。		

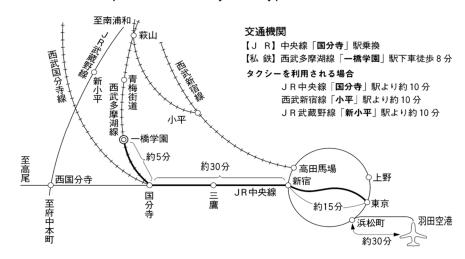
< 研

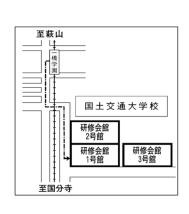
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042(324)5315(代)

FAX 042(322)5296

https://www.jctc.jp/







現地研修(宮ヶ瀬ダム)

【参考】令和5年度、当センターが実施いたしますダム部門の研修は次のとおりです。

研 修 名	※対象者	日数	研修 初日	研修会費(円/人)
ダム管理主任技術者(学科)	— 般	5	4月17日(月)	102, 000
ダム管理主任技術者(実技訓練教科)	— 放	各 3	5月10日(水)~	78, 000
ダム管理(管理職)	行 政	3	4月26日(水)	66, 000
ダム管理	— 般	5	11月13日(月)	101, 000
ダム操作実技訓練	— 般	各 3	11月29日(水)~	71, 000

※「行政」… 国及び地方公共団体、独立行政法人等を対象とした研修

※「一般」… 行政、民間を対象とした研修

令和5年度に実施する研修の実施計画についてはホームページでご確認ください。ホームページアドレス https://www.jctc.jp/

【メール配信】メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、 募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。 なお、この場合は全ての研修について配信されます。

ご希望の方は、下記 URL または QR コードよりお申し込みください。

https://www.jctc.jp/training/mail-service